

議 事 録

公開 ・一部公開・非公開			部 分 非公開 理 由		
			文書管理責任者	保存期間	30 () ・ 10 ・ 5 ・ 3 ・ 1 ・ 随
				作成日	令和4年 8月 29日
部長	課長	課長補佐	係長	係	記録者所属 健康保健課保健係
					職・氏名 主査 柳澤 亜紀 印

会議等の名称	令和4年度 第1回東御市健康づくり推進協議会	開催日時	令和4年8月25日（木） 午後 1時15分～ 午後 3時10分
		場 所	総合福祉センター3階講堂
主催者(事務局)	健康保健課	司会者	寺田健康保健課長・中村会長
出席者	田中 博文、五十嵐 英美、中澤 文子、佐々木 裕三、栗原 陽子、関 茂 後藤 千代子、中村 至、早武 良行、中村 武人、町田 文子、竹村 洋子 伊藤 たみ子、山浦 利通、武田 順子、羽毛田 有理、古平 幸恵、（オブザーバー岡田真平） 小林健康福祉部長、寺田健康保健課長、武井地域医療推進係長、土屋保健係長 保健係 柳澤、田原、加藤、健康増進係 笹井、平沢		
欠席者	寺沢 昭一		

議 題	(議題) ・ (1) 市健康づくり計画等進捗状況について ・ (2) 健康づくりに関する意見等について ・ ・	(配布資料) 別紙会議資料のとおり 第2次東御市健康づくり計画後期計画概要版 食育編概要版 東御市自殺対策計画概要版
決定事項 <small>(要点を箇条書き)</small>	・ 会長に中村武人委員、副会長に竹村洋子委員に決定した。	
次回への検討事項		
次回開催	(日時) 令和5年8月頃 午後 1時 15分から	(場所)

討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
経過		
委嘱書の交付		
1 開会	事務局	協議会の役割について説明
2 あいさつ	花岡市長	あいさつ
3 自己紹介		
4 会長、副会長選任		会長に中村武人委員、委員副会長に竹村洋子委員に決定。
5 議題	進行：会長	
(1) 市健康づくり計画等進捗状況について	事務局	概要版、資料1・2、「令和3年度保健衛生」について説明
(7) 健康保健課事業概要・健康づくり計画進捗状況		
(4) 第2次東御市健康づくり計画後期計画「健康とうみ21」概要版 別冊「令和3年度東御市保健衛生」等		
(7) 東御市の健康状況	岡田身体教育医学研究所長	資料「東御市の健康状況について」説明。介護認定について東御市は軽度（要支援1～要介護2）までの伸び率が高い結果。重度（要介護3～5）は抑えられている。
(2) 健康づくりに関する意見等について	委員	生活習慣病事業について、病気にならないと健康に興味を持ちにくいのではないか。「母と子の健康相談」について、お母さん達から月に1回でも良いので週末に開催できないかと聞くことがあるので検討して欲しい。自死のフォローはどのようになっているのか。亡くなった方についての振り返りは行っているのか。
	事務局	自死は発生した後に情報として把握することになり、個人的な情報はプライバシーがあり入らない。年に3～4回会議を開催し、関係機関と情報交換して状況を検証している。未遂の場合は医療機関が入って必要に応じてこちらへつながる状況。
	委員	基本的な目標になっている健康寿命はどのような根拠か。「保健衛生」P15対応内容に虐待・不登校とあるが、どの年齢までをフォローしているのか。もうすぐママパパ学級や乳幼児健診時に保健師さんには子どものことだけでなく家庭の悩みや心配事など広い分野に踏み込んで相談に乗ってほしい。
	事務局	健康寿命は国の計算式から算出している。虐待・不登校は保健師が関わっている、地区毎の管理台帳からの数。
	委員	自殺対策については、保健所では死に至ってしまった場合の振り返りは難しい。未遂については親の会があり、コロナ禍だが開催して欲しいと要望があるので検討している。自死遺族の会については周知広報を市に依頼している。コロナ対策では、医療機関のかかり方についてご協力をお願いしたい。時間外でなく平日の早い時間に受診をして欲しい。発熱などで驚いて救急要請する事例があるが、本当に必要な脳卒中や心筋梗塞の方への影響が出る。市でも啓発をお願いしたい。
	委員	市民の方に特定健診の目的の理解をして欲しい。生活習慣病の予防・早期治療ということ市から啓発する必要があるのではないか。コロナでは、高齢者の女性が自宅で夫の介護をしていて、自分が陽性になった場合に夫が接触者になるので、どうすればよいかというケースの課題が出てきている。保健所がこれまで対応していたと思うが、現在はひっ迫してきていて難しいと思う。地域で解決していかなければならない問題だと思う。
	事務局	必要なサービスは介護保険事業者が対策を取りながら最低限は入っているのではないかと。
	委員	訪問介護ステーションに研修でサービスが途切れることなく支援を依頼した。コロナが流行した当初は、事業所にサービスを断られてケアマネが対応したケースもあった。ヘルパーさんにも呼び掛けてもらえれば。
	委員	地域で赤ちゃんが生まれているのかどうか分からないので、新生児訪問の際に主任児童委員を同伴してもらえないか。10年前はそういった取組をしていたが途切れてしまった。産後うつの方を見守ることができるのではないかと。検討してほしい。
	委員	医療への負担軽減に具体的に何をすればよいか。
	事務局	若くて重症化リスクが低く症状が軽い人はすぐに受診しないで自宅療養で様子を見て欲しい。医療機関に集中して現場がひっ迫している。県がWEBによる抗原定性検査キットの配布（新型コロナウイルス感染症若年軽症者登録センター）を実施しているので利用して頂きたい。また、緊急度が高い場合はすぐ受診をして欲しい。

討議内容及び	(発言者名)	(発言内容)
経過	委員	かかりつけ医などにまず聞いてもらって、現在は全部断る医療機関ばかりではない。検査キットも自分で手に入れられるが、不安であれば受診していい。ただ今より2～3倍の感染状況になると医療機関も大変。リスクがある人は遠慮せずに受診して欲しい。保健所でも妊娠している人はその日の内に受診するよう対応している。
	委員	感染状況を隠しているのがいけないのではないかな。
	事務局	プライバシーの問題がある。
	委員	消毒、手洗い、密を避けるなどの感染対策をして陽性者が減ると良い。
	委員	長引くコロナで健康被害として元気がない人が自分の周りに増えている。ワクチン接種と治療薬、検査キットがインターネットなどだけでなく手軽に手に入ると良いと思う。
	事務局	検査キットは薬局でも購入できる。タイミングである場合とない場合がある。
	委員	薬局で無償の抗原検査を2回したところとても簡単だった。特定健診の受診率について和地区が低い状況。かかりつけ医での検査データ提供についてもっと広報をしたらどうか。不妊治療について国で保険適用となるようだが市の補助はどうなるのか、また今年度は件数は増えているのか。
	事務局	4月から保険適用に多くの方がなるのではないかな。例年20件。市では保険適用外に補助をする。
	委員	コロナで近所の方が表に出る様子がない中で、あるおばあちゃんは話が好きでよく家に来るので話し相手になっている。
	委員	抗原検査キットがスーパーでも並んで購入できる状況。このまま使い易い状況になると良い。抗原検査で陰性でもPCR検査で陽性のこともあるようだが。
	委員	定性検査と定量検査がある。PCR検査は遺伝子レベルで少量でもハッキリ結果が出やすい。定量検査は一定量以上だと陽性になるので、発症から10日しても陽性のことがあるが他人に移すわけでもない。ウイルスの残骸にも反応するため特に寝たきりの高齢者はずっと陽性になる。定性抗原検査キットの場合は接触して2日位して検査すると良い。研究用はあまり陽性が出ない。その辺りの情報がニュースなどでも周知が十分でないと感じる。
	委員	自分の健康は自分で守る。予防に力を入れることが大事。コロナ感染症も健康に関心を持つ人が増えたという点ではメリットがあった。ある調査によると市報も2割の市民は読まないそうだから、いかに予防していくかこの会議に出席した私たちが周りの人に啓発していく必要がある。
	委員	介護のためこの会議に出るのを迷ったが、とても勉強になったので来て良かった。行き過ぎたステイホームが生活習慣病を作るというのが胸に刺さった。自分もコロナで運動や人に会うのを止めていて、どこか体が不調。今日の内容を所属団体の皆さんにしっかり伝えたい。
	委員	健康2次被害予防のために健康教室を開催するよう企画していきたい。
	委員	身体だけでなく心も健康でないといけないと思った。職場でコロナの陽性者が出たため検査をしたが、抗原検査が陽性でPCR検査が陰性のこともあった。正しい情報が欲しい。
	会長	内容を精査していただき、必要なことは市報等でお知らせください。
6 その他	事務局	今年度は今回のみの会議開催となる。
	事務局	コロナ感染症のチラシについて説明。
7 閉会	副会長	閉会